

窓ふき職人

作家 Heinz Meister

人数: 2~6人
年齢: 5歳くらいから
時間: 約15分
内容: 窓カード 35枚
窓の絵ボード 6枚
コマ 6個



ゲームのあらすじ

プレイヤーは、白黒の窓枠がひとつだけ描かれた窓カードを見て、できるだけ早くこのカードと同じ大きさ（長さや幅が同じ）の窓を6枚の窓の絵ボードから探しだし、自分のコマを置きましょう。

ゲームの準備

6枚の窓の絵ボードをすべて表向きに場に並べます。それぞれの窓がよく見えるようにボードは重ならないようにします。(次ページ参照)

各プレイヤーは自分の色のコマをひとつずつ持ち、自分の前に置きます。コマがあまった場合は箱にもどします。

ゲームの進行係を一人決めます。進行係が35枚の窓カードをまげて白黒の枠の面を上にし、ひとつにまとめて片手に持ちます。

注意: 進行係の人も他のプレイヤーと同じようにゲームに参加します。



1

これは5人でプレイする場合の例です。
各プレイヤーは自分の色のコマをひとつずつ持ちます。
進行係のUdoさん(黄色のコマ)は窓カードを全部ひとつにまとめて(白黒の面を上にして)手に持ちます。



ゲームの手順

進行係は手に持った窓カードの1番下からカードをひき、白黒の面を上にして、すべてのプレイヤーがよく見えるように6枚の窓の絵ボードの脇に置きます。



そしてすべてのプレイヤーは一斉にその窓カードの窓と同じ大きさの窓の上に自分のコマを置きます。6枚の窓の絵ボードの中に進行係がひいた窓カードと必ず同じ大きさ（長さや幅が同じ）の窓がひとつあります。

注意: どの窓にもコマは2個までしか置けません。すでにひとつの窓に2個置かれていたら他のプレイヤーはコマを置くことはできません。

注意: 2人で遊ぶ時はひとつの窓にコマは1個しか置けません。

すべてのプレイヤーが自分のコマを窓に置いたら、進行係は窓の絵ボードの脇に置いた窓カードを表向き（窓の絵の方）にします。



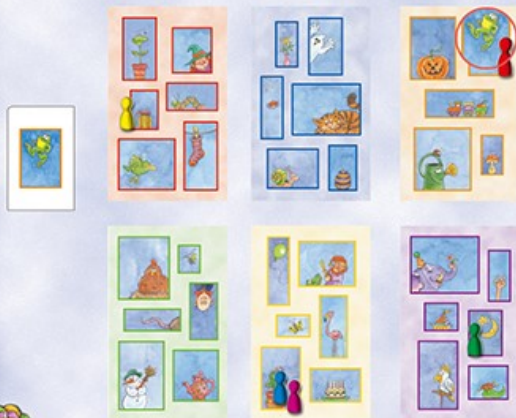
2

表向きになった窓カードの絵を見ながら、その窓が窓の絵ボードのどれと同じ大きさなのかを確かめます。6枚のボードには同じ絵が描かれた窓がひとつだけあり、それが正解です。

- 正しい窓の上にひとつもコマが無かった場合は、表向きにした窓カードを箱に戻します。
- 1人だけが正しい窓にコマを置いた場合は、そのプレイヤーが表向きにした窓カードをもらいます。
- 2人が正しい窓にコマを置いた場合は、一人は表向きにした窓カードを、もう一人は進行係が持っている窓カードから一枚もらいます。

もらった窓カードは白黒の面を上にして自分の近くに置いておきましょう。

Klausさん(赤のコマ)は自分のコマを正しい窓に置くことができたので表向きにした窓カードをもらいます。



3

正解した人が窓カードをもらったら、プレイヤーは全員一旦コマを自分の前に置きます。そして進行係はふたたび手に持った窓カードの一番下からカードをひき、白黒の面を上にしてすべてのプレイヤーがよく見えるように6枚の窓の絵ボードの脇に置きます。

このようにしてゲームは進行していきます。



ゲームの終了と勝者

進行係の持っていた窓カードが残り1枚、あるいは全部無くなったらゲームは終了です。

プレイヤーは自分のもらった窓カードの数を数えましょう。一番多く持っている人が勝者となります。



株式会社エルフ
〒181-0004 東京都三鷹市牟礼6-10-5
TEL.0422-41-3424 FAX.0422-41-3425
www.elfnet.co.jp
©AMIGO Spiel + Freizeit GmbH,
Waldstraße 23-D5, D-63128 Dietzenbach
www.amigo-spiele.de

4